

## 子育て世帯への臨時特別給付金10万円問題

昨日閉会した令和3年第4回三鷹市議会定例会において、ギリギリのタイミングで子育て世帯への臨時特別給付金10万円一括給付が可決されました。

ご高尚のとおり、今回の子ども世帯への臨時特別給付金事業は、当初、一人あたり10万円の半額にあたる5万円を先に現金給付して残り5万円については、現金でなくクーポンで給付するという方向での議論が国会等でなされていました。

残り5万円のクーポン給付は、新聞報道等にもありますように、日本国内で900億円を超える巨額な経費が掛かることが判明し、現金一括給付への変更を主張してきました。

また、基礎自治体である三鷹市としても、クーポンでは市職員の業務量が大幅に増えることが危惧されたうえ、子育て世帯にとってもクーポンで買える店舗が限られることが予想されるなど、現金+クーポン案は、大きな課題があることを指摘してきました。

しかし、ギリギリのタイミングでしたが、現金一括給付で決着し、大変良かったと思います。使わないですんだ経費もコロナ対策費に振り向けて欲しいと切に思います。

また、今回あまり議論されていませんが、

子ども給付金の対象とならなかったお子様が三鷹市内で8,000人いらっしゃいます。率にして、30%にもなります。

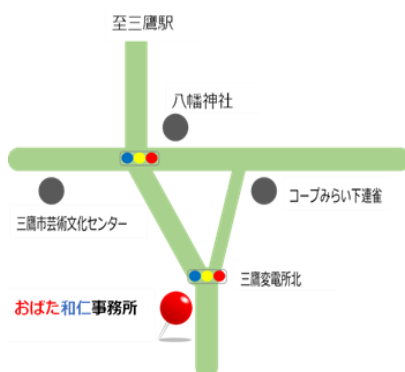
子どものための給付金は、所得制限をすることなく、一律に給付するのが妥当ではないでしょうか。



## 三鷹市議会の政務活動費について

国会議員に支給される月額100万円の「文書通信交通滞在費(略称文通費)」が国会で議論されていますが、三鷹市議会議員の同様な給付金にどのようなものがあるのかをお伝えしたいと思います。

市議会議員に支払われている同様な給付金は、「政務活動費」となります。三鷹市の場合、この「政務活動費」は、一人当たり年額297,000円までが認められています。国会議員とは金額にして大きな差があります。



おばた和仁事務所

三鷹市上連雀 6-4-1 ウェーブビル 1階

おばた和仁連絡先 TEL080-3046-0741

- PROFILE
- 三鷹市議会議員1期目、三鷹まち活塾(3期生)修了  
東大まちづくり大学院修士課程に在籍
  - 三鷹生まれ三鷹育ち、三鷹幼稚園、南浦小学校、三鷹一中(バスケット部)、都立国立高校(バスケット部)、横浜国大経済学部(ダンス部)
  - 元東京海上日動火災社員、元ジャスダック上場企業執行役員
  - まちづくり環境委員会委員、駅前再開発・市庁舎検討特別委員会副委員長、消防委員会委員、三鷹国際交流協会評議員など
  - 趣味 水泳(毎日1Km)、ドラム演奏、社交ダンス

また、この活動費は、議員個人の口座ではなく、会派の口座に振り込まれ、議員相互で監視する仕組みがとられています。収支報告や領収書等の提出も会派ごとに求められ市民の皆さまに毎年公表しています。そして、1年後に収支差額（給付残）がある場合は、その全額を市に返却しています。

この政務活動費は、用途も厳しく限定されておりまして、その意味でも国会議員の“文通費”とは異なります。用途は、研究研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、広報費、広聴費、事務費でなければなりません。いわゆる交際費等には使えません。私の会派（三鷹民主緑風会）の場合、会派として作成する年1回の市議会報

告書（会派レポート）作成、先進的な全国の市町村の事業を視察する訪問交通費（通常年1回実施）、会派室で利用するコピー紙購入等に主に活用されています。したがって、議員個人で作成するレポート作成諸費用や個人で参加する研修費・交通費等は、自費となるのが実情です。

なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多額の財政需要が見込まれることから、三鷹市議会9会派のうち私たちの会派を含む7会派が政務活動費を全額返上しました。また、2021年度は、一人あたり年額180,000円に減額することを申し出ました。

## 天文台百年の森を次世代につなぐ新たな地域づくり

国立天文台北側敷地を中心に、新たなまちづくりが始まろうとしています。まちづくりの3本柱は、1. 質の高い防災・減災のまちづくり、2. 学校を核としたスクール・コミュニティの創造、3. 日常生活圏を基盤とした商職住近接のまちづくりですが、大沢地域の課題解決に向けた取り組みになることが期待されます。

■ 浸水予想区域内に位置する「羽沢小学校」については、子どもたちの通学、学校生活時の安全安心を最優先と考え、天文台北側敷地への移転に向けて検討します。

■ 通学距離が遠くなる子どもたちの負担軽減策として、スクールバスの運行等についても検討します。

■ 仮に、「羽沢小学校」が将来的に移転した場合の跡地利用の検討においては、大沢地域に不足するスーパーマーケットなどの商業施設等の誘致に取り組み、買物不便環境の解消を目指します。（私が一般質問等で主張してきたスーパーマーケットの誘致がこのたび検討案に記載されています。良かったです！）

■ なお、浸水予想区域内に立地する大沢コミュニティ・センターや今後更新期を迎える大沢台小学校等の公共施設のあり方については、地域のご意見をお聴きしながら検討するとしています。

